

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター

2019 年度定時社員総会参考書類

1 報告事項

- ・ 報告事項 1 2018 年度事業報告について
- ・ 報告事項 2 2019 年度事業計画及び収支予算について

2 決議事項

- ・ 議案第 1 号 2018 年度決算の承認について
- ・ 議案第 2 号 理事の辞任に伴う後任者の選任について
- ・ 議案第 3 号 任期満了に伴う監事の選任について

報告事項 1

2018 年度事業報告について

定款第 39 条の規定により 2018 年度の事業報告について事業報告書を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を得たので、同条第 2 項の規定により報告する。

- 1 事業報告書 別紙のとおり
- 2 監査報告書 別紙のとおり

2019 年 6 月 18 日提出

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事会長 アルバン・ロバート・ミュラー

2018年度事業報告書

自 2018年4月 1日

至 2019年3月31日

1 組織活動

(1) 定時総会

2018年6月7日(木)に開催し、「2017年度事業報告」「2018年度事業計画及び収支予算」を報告し、続いて「2017年度決算の承認」、「定款の一部変更」及び「任期満了に伴う理事の選任」をそれぞれ審議可決した。

なお、総会後は2件の講演(経済産業省 生物化学産業課 生物多様性・生物兵器対策室長 小出純氏「近年の化粧品等をめぐる状況」、(株)マッシュビューティークラボ Biople by Cosme Kitchen ディレクター 佐藤香菜氏「消費者のリアルな声から知るナチュラル&オーガニックに求められること」)、そして会員企業交流プレゼン大会を実施した。

(2) 理事会

理事会設置法人として、次のとおり理事会を開催した。

回	開催日	議案
1	5月16日(水)	①2017年度事業報告及び決算の承認について ②定款の一部変更について ③2018年度定時社員総会の招集の決定について
2	5月21日(月)	①2017年度決算の修正の承認について
3	6月7日(木)	①会長及び副会長の選定について
4	9月25日(火)	①新玄海町長への顧問就任依頼について
5	11月16日(金)	(報告事項のみ)
6	12月18日(火)	①つなぎ融資に係る短期借入について
7	3月25日(月)	①2019年度事業計画について ②2019年度収支予算について

		③規則規定の改正について
		④株式会社 Karatsu Style の役員選任について

2 新市場開拓事業

(1) アジア市場マッチング事業

JCC 会員のアジア市場への直接的・間接的参入を促進するため、ASEAN 及び台湾をターゲットとしてマーケティング及び販路拡大の機会を創出するため、ASEAN への製品輸出及び OEM 受注の調査営業、商談会等を行った。

<主な活動・動き>

- ・ 4月～11月 ASEAN への製品輸出及び OEM 受注の調査営業
- ・ 7月25日 シンガポール・マレーシア バイヤー商談会
(バイヤー4社、参加企業7社)
- ・ 9月13日 化粧品商談会 in 台湾(台北市) (バイヤー11社、参加企業11社)
- ・ 2月22日 台湾セミナー (講師3名、参加者29名(19社))

(2) EU市場マッチング事業

JCC 会員の EU 市場への直接的・間接的参入を促進するため、提携クラスターと連携した展示会及び商談会等の実施、現地国の流通パイプの構築を行った。

<主な活動・動き>

- ・ 10月17日～18日 COSMETIC360@パリ (出展企業9社)
- ・ フランス：JAPAN ブランド構築事業(輸出プロセスのテスト)
- ・ イタリア：現地コンサル会社との提携による輸出支援
- ・ 現地流通調査営業

(3) 海外企業誘致事業(唐津市委託)

唐津市からの業務委託により、海外コスメ企業誘致のための調査、プロモーション、企業面談及び招聘等を実施した。

<主な活動・動き>

- ・ 有力案件のフォロー
- ・ 新規案件開拓／国内外でPR事業(投資セミナー等)6件

- ・PRツールの更新

3 産業創出事業

(1) 技術・産学連携促進事業

会員企業の技術ニーズに応える大学等シーズ情報の提供、国際的な産学連携の創出、産学連携による原料開発及び起業創業支援を行った。

<主な活動・動き>

- ・7月3日 第1回化粧品評価セミナー「スキンケア効果の評価手法と皮膚計測機器の効果的な使い方」(JCC共催) (参加者27名)
- ・7月26日 JCC技術セミナー『化粧品香料概論と香りの評価(体験自習)を学べる香りのセミナー』(参加者23名)
- ・3月1日 第6回産学交流セミナー 美容・健康系シーズ発表会(参加者33名)
- ・相談対応、国際産学連携調査、団体機関関係構築
- ・産学連携共同研究

(2) 研究者及びシーズ情報DB作成事業

支援大学等の研究者及びシーズ情報のデータベース化を行った。

<主な活動・動き>

- ・データベース随時更新中

(3) 製品開発支援事業

会員企業及びスタートアップ者の製品開発に関しマーケティング視点での相談対応・支援を行った。

<主な活動・動き>

- ・11月10日、18日 化粧品づくりとマーケティングセミナー(ドリームコスメを作ろう)(参加者14名)
- ・2月22日 化粧品PRセミナー(参加者31名)
- ・新規参入相談者対応

(4) 販路開拓・プロモーション支援事業

今後の販路開拓支援を強化するための各種調査・支援を行った。

<主な活動・動き>

- ・流通・卸等企業とのネットワーク構築
- ・販路開拓に関する個別相談対応

(5) クラスタ交流会・セミナー事業

会員ニーズに沿ったセミナーを開催すると共に、会員間及び会員と地域産業の交流を図り、ビジネスマッチ、イノベーションの創出を図った。

<主な活動・動き>

- ・7月31日 「さがフード&コスメラボ」 セミナー ～地域素材から生まれる健康と美～@佐賀市（主催：さがフード&コスメラボ／共催：JCC）
（参加者 51 名）
- ・10月22日 九州コスメセミナー（第1回）@福岡市
（主催：JCC／共催：九州経済調査協会）（参加者 76 名）
- ・12月14日 九州コスメセミナー（第2回）@福岡市
（主催：JCC／協賛：西日本化粧品工業会）（参加者 64 名）

(6) マッチングサイト事業

会員企業が、会員間、海外企業等に向けて自社の商品・サービスをPRする機会として、商談会等の事前WEBマッチングの実施及び会員のマイページの利用活性化を図ったものの、利用率の向上には至っていない。

(7) 企業誘致及び立地支援事業

国内企業の有力案件の発掘及び国内外の進出企業への支援を図ることにより本地域の産業集積を促進した。

<主な活動・動き>

- ・新規の誘致案件の創出（リストアップ、企業訪問）3社（目標3社）
- ・企業誘致営業訪問 13社
- ・継続案件のフォロー
- ・唐津来訪の対応
- ・進出立地成約 1件（目標2件）

(8) 企業活動強化及び創業支援事業（佐賀県委託）

佐賀県からの業務委託により、コスメ&ヘルスケア・ビジネスを志す者に対し原料・製品開発支援、地産素材のブランディング支援などを行い、入り口から出口までトータルの支援を行う体制を構築した。

<主な活動・動き>

- ・コーディネーター2名による各種相談及びサポートを実施
- ・10月6日 ゼロから始めるコスメ起業家セミナー@東京(参加者53名)
- ・12月5日 人生のS暮らす・さが暮らしセミナー「Saga Beauty Day」@福岡市(主催:JCC、佐賀県)
- ・11月2日、9日、30日、12月7日 コスメ創業セミナーの開催(開催地:鳥栖市、佐賀市、鹿島市、唐津市)

(9) コスメビジネススクール構想推進事業

国際的コスメティッククラスター形成の重要なインフラとして、産業人材の育成を図るビジネススクールを設立するために必要な準備を行った。

<主な活動・動き>

- ・ビジネススクール構築検討部会の開催 3回
- ・外部環境等の調査
- ・ヒアリング調査
- ・カリキュラム編成につながるセミナーの開催 1回(化粧品科学のいざないセミナー)(参加者31人)

(10) インキュベーション構想推進事業

「日本で一番コスメビジネスがしやすいまち」の実現に向けて、起業創業、新規参入、オープンイノベーション、海外企業進出の受皿及び支援機能の整備を推進するため、構想部会の開催等を行った。

<主な活動・動き>

- ・インキュベーション構想部会の開催 3回(主催:佐賀県)
- ・アクセラレーションプログラムの開発

(11) Karatsu Style 活動支援事業

JCC100%出資の子会社であり、地方創生のモデル地域商社である(株)Karatsu

Style の各種事業を継続的に支援することにより、コスメティック構想のサプライチェーン機能の強化を図った。

4 地域ブランド事業

(1) 原料開発・供給促進事業

地産素材を活用した原料・製品の開発支援、地産素材を活用した原料の供給、栽培支援等を通じた産地形成を図った。

<主な活動・動き>

- ・ 機器整備による開発室の品質管理・原料素材供給体制を構築
- ・ コスメ原料開発室における地産素材収集とサンプル製造
(58 品目・64 部位、258 試料/3 月末日現在)
- ・ 関係大学及び佐賀県工業技術センターと連携した機能性評価の実施
(6 品目・12 部位、21 試料、各 1~8 項目/3 月末日現在)
- ・ 圃場整備 唐津(浜玉町平原)の耕作放棄地活用

(2) 地域コア原料開発・産地化促進事業(唐津市委託)

唐津市からの業務委託により、地産素材を使用した競争力のある原料の開発、素材栽培の拡大による産地化を図った。

<主な活動・動き>

- ・ 加唐島の椿について、地域団体の産地活性化の活動に対し支援を行った(商品化及び原料供給 7 社)。また、7 つの島のうち 6 島で椿種の採取実施について支援を行った。
- ・ ムラサキ栽培施工生産者数創出 6 件(目標 6 件)
- ・ サバ成分有効性の実証
- ・ コア原料候補の特定 2 素材

(3) Sagan beauty weekend 2018(佐賀県主催)

佐賀県、佐賀市、唐津市及び玄海町の四者による美と健康に関する協定に基づき、コスメ&ヘルスケア産業の価値や JCC 活動などを県民や域外に広く PR するイベントを開催した。

<主な活動・動き>

- ・5月5日 Sagan Beauty Weekend 2018 ～Hana Marche～@唐津市
(参加者約1,600名)
- ・10月26日 Sagan beauty weekend 2018@佐賀市 (参加者300名)

(4) JCC 設立5周年記念事業

2018年11月16日(金)に開催し、山崎信二副会長から挨拶及び「JCCこれまでの5年間と未来に向けて」と題してのプレゼンテーションを行い、パネルディスカッションでは、「未来に向けて、持続可能な社会とコスメビジネスの関係」をテーマに、岩瀬由典氏(岩瀬コスファ㈱代表取締役社長、JCC理事)、暮部達夫氏(㈱クレコス代表取締役社長、JCC理事)、松尾聡子氏(㈱バース・プランニング代表取締役)の3人のパネリストと、モデレーター小田切裕倫(JCCチーフコーディネーター)の進行により、活発に発言を頂いた。

また記念書籍の発行に向けて準備を行った(2019年4月発売/3,000部発行)。

<主な活動・動き>

- ・11月16日 JCC設立5周年式典@唐津市 (参加者193名)

(5) 地域ブランド構築事業

“ソーシャル・コスメティクス～コスメが地域を活性化する”を仮テーマに置いた、地域にける「コト」「ヒト」づくりを通して、「コスメのまち」イメージブランド構築を図った。

<主な活動・動き>

- ・9月4日～7日 東京インターナショナル・ギフト・ショー出展@東京
- ・9月22日～23日 オーガニックライフスタイルEXPO出展@東京
- ・10月13日～14日 YOGA MARCHE 2018への企画協力@福岡
- ・11月16日 FACTO(市整備レンタル工場)オープンイベント支援
- ・地域人材(地域キーパーソン)の創出 3名(目標3名)

(6) 広報PR事業

JCC活動、会員活動、関係機関情報をタイムリーに発信・PR及びJCCの紹介ツールの更新を行った。

<主な活動・動き>

- ・ホームページの運営 (28,889セッション、19,210ユーザー、97,677PV/年)
- ・メディア記事掲載 85件 (プレスリリース、メールマガジン除く)
- ・メールマガジンの発行 (32件、配信アドレス数810件)
- ・プレスリリースの発出 (地元向け16回、DreamNews 14回、PR Times 1回)

5 専門人材配置事業

(1) 専門人材配置

当会活動を効果的・効率的に進めるため、専門人材を配置して業務を遂行した。

<専門人材体制>

- ・チーフコーディネーター4名
(国際担当1名、地域ブランド担当1名、製品販路担当1名、
クラスタ交流担当1名)
- ・コーディネーター4名 (国際担当2名、産学連携担当1名、原料開発担当1名)
- ・コスメ原料開発室オペレーター1名
- ・スーパーバイザー3名

6 会員の状況

(1) 2017年度期末

正会員	189名
支援会員	24名
計	213名

(2) 2018年度3月31日時点

正会員	195名	(継続153名、新規入会42名)
支援会員	27名	(継続24名、新規入会3名)
計	222名	(継続177名、新規入会45名)

監 査 報 告 書

2019年5月10日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター

代表理事 アルバン・ロバート・ミュラー 殿

監 事 成 富 茂 子

監 事 江 口 和 幸

私たち監事は、当会の2018年4月1日から2019年3月31日までの2018年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法によって、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、当会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類の監査結果

計算書類は、当会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

報告事項 2

2019 年度事業計画及び収支予算について

定款第 38 条の規定により 2019 年度の事業計画及び収支予算を作成し、理事会の承認を得たので、報告する。

- 1 事業計画書 別紙のとおり
- 2 収支予算書 別紙のとおり

2019 年 6 月 18 日提出

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事会長 アルバン・ロバート・ミュラー

2019年度 事業計画

【総括表】

事業分野	事業名
1 新市場開拓事業	(1) 輸出プロジェクト (台湾)
	(2) 輸出プロジェクト (フランス)
2 産業創出事業	(1) 製品販路支援事業 (販売企画・マーケティング)
	(2) 製品販路支援事業 (販路開拓・プロモーション)
	(3) 海外販路開拓事業 (唐津市委託)
	(4) 起業誘致及び企業支援事業
	(5) 海外企業誘致事業 (唐津市委託)
	(6) 産学連携事業
	(7) 人材育成事業
	(8) インキュベーション事業 (唐津市委託)
	(9) セミナー／広報
3 地域ブランド事業	(1) 原料開発・供給促進事業
	(2) 地域コア原料開発・産地化促進事業 (唐津市委託)
	(3) 地域ビジネス創出体制の整備
	(4) Hana Marche 等コンテンツ発信
	(5) 玄海プロジェクト
4 専門人材配置事業	(1) 専門人材配置

1 新市場開拓事業

事業名	内 容
(1) 輸出プロジェクト	<p>○目 的 JCC 会員の海外参入を促進するため、「台湾」「フランス」をターゲットとした輸出ルートの構築を行う。</p> <p>○概 要</p> <p>①台湾テストマーケティング事業</p> <ul style="list-style-type: none">・テストマーケティング募集選定、輸出支援、テスト販売・セミナー開催、マニュアル作成 <p>②フランス輸出ルート構築</p> <ul style="list-style-type: none">・商品レジスト完了、販売店調査・現地商談支援・展示会出展、現地PR

2 産業創出事業

事業名	内 容
(1) 製品販路支援事業 A	<p>○目 的 会員企業及びスタートアップ者の販売に関しトレードマーケティングとディストリビューションをミックスした視点での対応・支援を行う。営業教育や販売促進の支援。</p> <p>○概 要</p> <p>①販売企画支援 ・主に国内販売の流通への支援（地域企業、会員企業など）</p> <p>②マーケティング支援 ・主に国内販売におけるマーケティング支援</p> <p>③相談対応 ・随時、流通、販売相談対応</p>
(2) 製品販路支援事業 B	<p>○目 的 会員企業等の商品の国内外への販路開拓を支援する。</p> <p>○概 要</p> <p>①地域企業支援 ・県内企業の商品を、県内店舗を中心に販路拡大、販売促進を支援 ・福岡等でのポップアップの実施</p> <p>②九州コスメ Pro. ・九州の各地域で光るコスメ等のプロダクトを探索・開拓し、国内外へ販売支援（入会促進）</p> <p>③売れるルート構築 Pro. ・BtoB（店舗以外）による国内外出口ルート構築（例：EC、越境EC、卸など）</p>
(3) 海外販路開拓事業 (唐津市委託)	<p>○目 的 地域発原料及び商品を、成長著しいアジア市場をメインにPR・販売活動を実施する。</p> <p>○概 要</p> <p>①海外市場バイヤー商談 ・海外市場に販路を持つバイヤー等を招聘し商談会・マッチングを開催（3社招聘）</p> <p>②海外市場バイヤー営業 ・有力バイヤーへ、地域商品の代行営業・PRを実施</p>
(4) 企業誘致及び起業 支援事業	<p>○目 的 国内企業の有力案件の発掘及び国内外の進出企業への支援を図ることにより本地域の産業集積を促進する。</p> <p>○概 要</p> <p>①企業誘致 ・リストアップ・アポ取り（理事・首都圏との連携含む） ・企業訪問・誘致営業</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・有力案件のフォロー（物件対応・優遇制度紹介など） <p>②起業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業相談窓口・支援 ・県・市・商工会議所等との連携支援実施 ・コスメ起業相談業務（JCC会員企業連携）
(5) 海外企業誘致事業 (唐津市委託)	<p>○目的 海外コスメ企業誘致のための調査、プロモーション、企業面談及び招聘等を実施し成約に結び付ける。</p> <p>○概要</p> <p>①新規案件創出営業活動（中/台/韓）(ｽﾊﾟﾝ/ｲﾀﾘｱ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規営業先調査、企業訪問（アジア） ・企業へのアプローチ計画策定 ・国内連携企業とのマッチング ・招聘活動（随時） <p>②PR誘致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー開催候補選定、開催準備 ・台湾PRセミナー、参加者へのフォロー活動 ・JETRO等関係機関を通じた海外への情報発信
(6) 産学連携 (7) 人材育成事業	<p>○目的 会員企業の技術ニーズに応える大学等シーズ情報の提供と、産業界に資する人材育成の体制を整備する。</p> <p>○概要</p> <p>①産学連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援大学連携／研究シーズ収集発信 ・随時、産学連携の相談対応、外部資金の獲得 <p>②人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3タイプの設計（先端技術者プログラム、インキュベーション連携、地元専門学校・高校P r o.）
(8) インキュベーション事業 (唐津市委託)	<p>○目的 JCCが所有する社会関係資本を活かし、市内美容健康関連企業の新規事業の創出、拡大の支援、及び国内外から唐津の地で起業創業する起業家の育成支援の場の整備を目指す。</p> <p>○概要</p> <p>①調査設計</p> <p>②アイデア・ハッカソン</p> <p>③アクセラレーション・プログラム</p>
(9) セミナー及び広報	<p>○目的 会員ニーズに沿ったセミナーを開催すると共に、会員間及び会員と地域産業の交流を図り、ビジネスマッチ、イノベーションの創出機会とする。また、定期広報を実施する。</p> <p>○概要</p> <p>①セミナー交流会</p> <p>②広報</p>

3 地域ブランド事業

事業名	内 容
(1) 原料開発・供給促進事業	<p>○目 的 地産素材を活用した原料の開発支援、栽培支援等を通じた産地形成等を展開することにより、地産素材の原料供給を促進する。</p> <p>○概 要 ①コスメ原料開発室の運営 ②素材探索原料開発サポート ③産地形成 ④CITE JAPAN 出展</p>
(2) 地域コア原料開発・産地化促進事業 (唐津市委託)	<p>○目 的 地産素材を使用した競争力のある原料の開発、素材栽培の拡大による産地化を図るもの。また、地域ブランド商品の開発を支援する。</p> <p>○概 要 ①地産コア原料産地支援 ・ヤブツバキの産地化／商品化支援 ・キノア、ニホンムラサキなどの産地化支援 ②地産コア原料開発支援 ・JCC×支援大学×JCC 会員との共同研究による原料開発 ・唐津コア原料素材の次候補の探索・評価 ③香料開発 ・香料候補の探索と規格化 ・原料加工団体、企業への技術支援</p>
(3) 地域ビジネス創出体制の整備 (4) Hana Marche 等コンテンツ発信	<p>○目 的 「コスメのまち」のブランドを形成し、ヒトモノカネコトを連環誘引。地域に新しい事業や仕組みが生まれ成長し続けるエコシステム構築とその中核を担う事業を立ち上げる。</p> <p>○概 要 ①地域ビジネス創出体制の整備 ・ローカルデザインハブ事業の立ち上げ ・人材獲得（広報／PR・ライター）、エコシステム人材誘引計画策定／テスト ・研修制度の設計、テストモデル実施等 ・事業計画策定、事業計画ブラッシュアップ ②既存事業の発展と継続自立化 ・Hana Marche</p>
(5) 玄海プロジェクト	<p>○目 的 玄海産薬用植物の美容健康原料への活用と、そのブランド価値を高めるとともに、持続的な生産、加工、物流、販売の仕組みを構築する。</p>

	<p>○概 要</p> <p>①ブランド構築事業</p> <p>②持続的な生産販売体制の構築</p>
--	--

4 専門人材配置

事業名	内 容
(1) 専門人材配置	<p>○目 的 当会活動を効果的・効率的に進めるため、専門人材を配置するもの。</p> <p>①専門人材の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター等 7名 (内訳) ・チーフ級 3名 ・担 当 4名 <p>②専門人材の諸活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員企業及び地域産業の各種ニーズに応じて関係機関と連携しながらコーディネート対応、コスメティッククラスター構想の実現に向けた各種事業を企画・実行。

2019年度 収支予算書

(単位 千円)

収入の部					
科	目	2019年度	2018年度	増減額	摘要
会費収入		8,400	8,400	0	正会員193社
	会費収入	8,400	8,400	0	
	会費収入	8,400	8,400	0	
負担金収入		84,000	84,000	0	県：44,800
	負担金収入	84,000	84,000	0	市：28,000
	負担金収入	84,000	84,000	0	町：11,200
補助金等収入		34,700	53,411	△ 18,711	各委託事業収入の説明は表外に記載
	委託事業収入	34,700	53,411	△ 18,711	
	国委託事業収入	0	5,000	△ 5,000	
	県委託事業収入	0	22,918	△ 22,918	
	市委託事業収入	34,700	25,493	9,207	
事業収入		1,000	4,800	△ 3,800	
	事業収入	1,000	4,800	△ 3,800	
	事業収入	1,000	4,800	△ 3,800	
その他収入		6,010	10	6,000	
	雑収入	6,010	0	6,000	
	預金利息	10	10	0	
	法人税還付	6,000	0	6,000	
繰越金		1,557	12,404	△ 10,847	
	繰越金	1,557	12,404	△ 10,847	
	繰越金	1,557	12,404	△ 10,847	
収入の部計		135,667	163,025	△ 27,358	

国委託事業収入：地域中核企業創出・支援事業受託収入

県委託事業収入：コスメ企業強化対策及びコスメ創業支援事業受託収入

市委託事業収入：地産素材活用原料開発及び海外コスメ企業誘致促進業務受託収入

支 出 の 部				
科 目	2019年度	2018年度	増減額	摘 要
事業費	105,574	133,655	△ 28,081	
新市場開拓事業	5,500	22,972	△ 17,472	
輸出プロジェクト (台湾)	1,500	7,000	△ 5,500	旧)アジア市場マッチング事業
輸出プロジェクト (フランス)	4,000	3,000	1,000	旧)EU市場マッチング事業
海外企業誘致事業	0	12,972	△ 12,972	※産業創出事業へ
産業創出事業	26,495	33,500	△ 7,005	
製品販路支援事業	3,000	1,500	1,500	旧)販路開拓・プロモーション支援事業 旧)製品開発支援事業
海外販路開拓事業	1,290	0	1,290	唐津市委託事業
企業誘致及び起業支援事業	1,000	1,500	△ 500	
海外企業誘致事業	12,642	0	12,642	唐津市委託事業
産学連携事業	500	3,500	△ 3,000	旧)技術・産学連携促進事業
人材育成事業	500	3,800	△ 3,300	旧)コズメ・ビジネススクール構想推進事業 旧)インキュベーション構想推進事業
インキュベーション事業	6,563	0	6,563	唐津市委託事業
セミナー／広報	1,000	1,500	△ 500	旧)クラスター交流会・セミナー事業 旧)マッチングサイト事業
企業活動強化及び創業支援事業	0	21,700	△ 21,700	佐賀県委託事業
Karatsu Style活動支援事業	0	0	0	
地域ブランド事業	20,741	25,988	△ 5,247	
原料開発・供給促進事業	6,300	7,000	△ 700	
地域コア原料開発・産地化促進事業	8,441	8,488	△ 47	唐津市委託事業
地域ビジネス創出体制の整備	3,000	1,800	1,200	旧)地域ブランド構築事業
Hana Marche等コンテンツ発信	2,500	3,000	△ 500	旧)Sagan beauty weekend 2018
玄海プロジェクト	500	0	500	
JCC設立5周年記念事業	0	4,000	△ 4,000	
広報PR事業	0	1,700	△ 1,700	※産業創出事業(セミナー/広報)へ
専門人材配置事業	52,838	51,195	1,643	
専門人材配置事業	52,838	51,195	1,643	
管理費	26,937	27,220	△ 283	
会議費	3,238	3,038	200	
総会、理事会等開催費	3,238	3,038	200	
管理費	8,437	8,835	△ 398	
事務所管理費	8,437	8,835	△ 398	
事務費	15,262	15,347	△ 85	
事務費	15,262	15,347	△ 85	
予備費	3,156	2,150	1,006	
予備費	3,156	2,150	1,006	
予備費	3,156	2,150	1,006	
支 出 の 部 計	135,667	163,025	△ 27,358	

議案第 1 号

2018 年度決算の承認について

定款第 39 条第 1 項の規定により 2018 年度の決算について計算書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を得たので、同条第 2 項の規定により承認を求める。

- 1 計算書類 別紙のとおり
- 2 監査報告書 別紙のとおり

2019 年 6 月 18 日提出

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事会長 アルバン・ロバート・ミュラー

貸借対照表

2019年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	33,582,092	31,510,345	2,071,747
小口現金	58,282	1,670	56,612
信金口座	20,096,493	0	20,096,493
収益事業収入口座	1,415,795	1,522,609	△ 106,814
大口口座	7,833,625	18,270,875	△ 10,437,250
代表口座	4,029,427	11,524,377	△ 7,494,950
外貨現金	148,470	190,814	△ 42,344
原材料	381,304	217,092	164,212
貯蔵品	148,082	20,730	127,352
前渡金	2,693,526	0	2,693,526
前払費用	655,967	171,300	484,667
立替金	9,936	0	9,936
仮払金	0	99,562	△ 99,562
未収入金	16,348,547	20,416,226	△ 4,067,679
仮払税金	6,176,300	0	6,176,300
流動資産合計	59,995,754	52,435,255	7,560,499
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物付属設備	11,141	80,471	△ 69,330
機械装置	92,704	246,429	△ 153,725
工具器具備品	1,385,025	1,345,248	39,777
一括償却資産	393,192	596,088	△ 202,896
有形固定資産合計	1,882,062	2,268,236	△ 386,174
(2) 無形固定資産			
システム構築費	2,262,069	2,511,765	△ 249,696
無形固定資産合計	2,262,069	2,511,765	△ 249,696
(3) 投資その他の資産			
出資金	10,000	0	10,000
投資有価証券	3,000,000	3,000,000	0
敷金	603,876	21,000	582,876
長期前払費用	726,600	0	726,600
投資その他の資産合計	4,340,476	3,021,000	1,319,476

固定資産合計	8,484,607	7,801,001	683,606
3. 繰延資産			
ウェブサイト	1,229,481	1,623,357	△ 393,876
繰延資産合計	1,229,481	1,623,357	△ 393,876
資産合計	69,709,842	61,859,613	7,850,229
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	28,000,000	0	28,000,000
未払金	9,996,545	16,857,442	△ 6,860,897
前受金	0	5,259,600	△ 5,259,600
預り金	305,706	567,492	△ 261,786
仮受金	0	0	0
未払法人税等	35,500	12,549,100	△ 12,513,600
未払消費税	1,927,000	3,344,500	△ 1,417,500
流動負債合計	40,264,751	38,578,134	1,686,617
負債合計	40,264,751	38,578,134	1,686,617
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	29,445,091	23,281,479	6,163,612
正味財産合計	29,445,091	23,281,479	6,163,612
負債及び正味財産合計	69,709,842	61,859,613	7,850,229

正味財産増減計算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	155,169,475	174,608,255	△ 19,438,780
会費収入	8,530,000	8,380,000	150,000
負担金収入	84,000,000	84,000,000	0
委託事業収入	59,765,396	80,539,974	△ 20,774,578
事業収入	1,825,372	964,850	860,522
その他収入	1,048,707	723,431	325,276
(2) 売上原価	626,565	295,772	330,793
期首棚卸高	217,092	0	217,092
原料仕入	497,855	321,064	176,791
その他仕入	292,922	191,800	101,122
期末棚卸高	△ 381,304	△ 217,092	△ 164,212
経常収益計	154,542,910	174,312,483	△ 19,769,573
(2) 経常費用			
広告宣伝費	5,206,314	7,235,647	△ 2,029,333
荷造運賃	416,193	743,470	△ 327,277
給与手当	65,174,330	69,986,176	△ 4,811,846
雑給(賃金)	191,800	165,800	26,000
法定福利費	10,973,665	11,142,397	△ 168,732
厚生費	309,138	319,727	△ 10,589
有形固定資産償却費	1,109,486	1,546,203	△ 436,717
一括償却資産償却費	512,640	604,656	△ 92,016
無形固定資産償却費	646,056	481,185	164,871
繰延資産償却費	414,636	319,923	94,713
賃借料	4,332,040	4,829,906	△ 497,866
地代家賃	1,740,003	933,061	806,942
修繕費	728,849	377,010	351,839
事務用品費	249,365	209,006	40,359
消耗品費	3,123,576	3,406,381	△ 282,805
水道光熱費	199,781	148,584	51,197
旅費交通費	19,126,374	21,079,240	△ 1,952,866
手数料	408,762	883,500	△ 474,738
租税公課	3,741,161	3,515,079	226,082

渉外慶弔費	1,394,157	2,007,179	△ 613,022
保険料	428,265	495,340	△ 67,075
通信費	934,835	888,123	46,712
諸会費	402,950	532,950	△ 130,000
図書印刷費	1,561,718	395,848	1,165,870
支払報酬	6,492,253	11,761,468	△ 5,269,215
支払負担金	5,515,754	1,380,000	4,135,754
委託料	10,604,347	11,648,650	△ 1,044,303
会議費	182,985	63,480	119,505
調査費	365,040	357,624	7,416
試験研究費	1,169,784	7,062,552	△ 5,892,768
原料消耗品費	13,910	100,400	△ 86,490
研修費	89,600	173,620	△ 84,020
雑費	30,000	19,500	10,500
経常費用計	147,789,767	164,813,685	△ 17,023,918
当期経常増減額	6,753,143	9,498,798	△ 2,745,655
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取利息	556	675	△ 119
雑収入	6,450	756,828	△ 750,378
経常外収益計	7,006	757,503	△ 750,497
(2) 経常外費用			
支払利息	143,835	0	143,835
寄附金	50,000	1,150,000	△ 1,100,000
雑損失	181,938	127,303	54,635
経常外費用計	375,773	1,277,303	△ 901,530
当期経常外増減額	△ 368,767	△ 519,800	151,033
経常利益	6,384,376	8,978,998	△ 2,594,622
固定資産除却損	87,264	0	87,264
税引前当期純利益	6,297,112	8,978,998	△ 2,681,886
法人税住民税及び事業税	133,500	12,549,100	△ 12,415,600
当期一般正味財産増減額	6,163,612	△ 3,570,102	9,733,714
一般正味財産期首残高	23,281,479	26,851,581	△ 3,570,102
一般正味財産期末残高	29,445,091	23,281,479	6,163,612
II 正味財産期末残高	29,445,091	23,281,479	6,163,612

監 査 報 告 書

2019年5月10日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター

代表理事 アルバン・ロバート・ミュラー 殿

監 事 成 富 茂 子

監 事 江 口 和 幸

私たち監事は、当会の2018年4月1日から2019年3月31日までの2018年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法によって、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、当会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類の監査結果

計算書類は、当会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

議案第2号

理事の辞任に伴う後任者の選任について

理事3名の辞任に伴い、後任者の選任を提案する。

1 理事候補者3名

- (1) 鈴木 幸司 [新任] (株式会社トレミー 代表取締役)
- (2) 畔田 浩貴 [新任] (唐津市 経済観光部長)
- (3) 加納 晴美 [新任] (玄海町 財政企画課長)

2 辞任する理事3名

- (1) 鈴木 栄治 [辞任]
- (2) 阿蘇 靖則 [辞任] (唐津市 未来創生部長)
- (3) 西 立也 [辞任] (玄海町 副町長)

2019年6月18日提出

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事会長 アルバン・ロバート・ミュラー

議案第3号

任期満了に伴う監事の選任について

第26条第1項の規定により現監事全員の任期が本総会終結時をもって満了となるため、つぎのとおり監事2名の選任を提案する。

1 監事候補者2名

- (1) 成富 茂安〔重任〕(成富税理士事務所 所長)
- (2) 江口 和幸〔重任〕(辻・本郷税理士法人 会長室統括部長)

2019年6月18日提出

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事会長 アルバン・ロバート・ミュラー